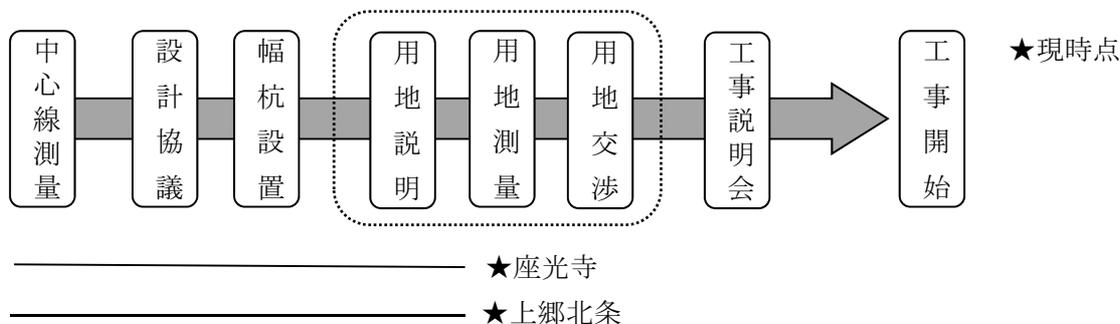


J R東海によるリニア中央新幹線本体工事の進捗状況について

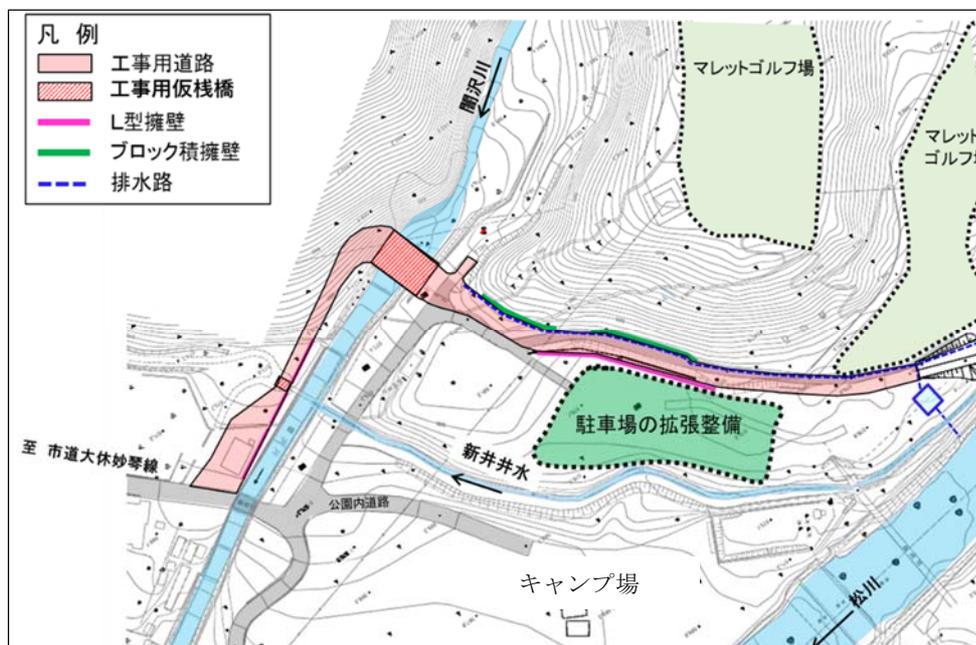
1 地上部

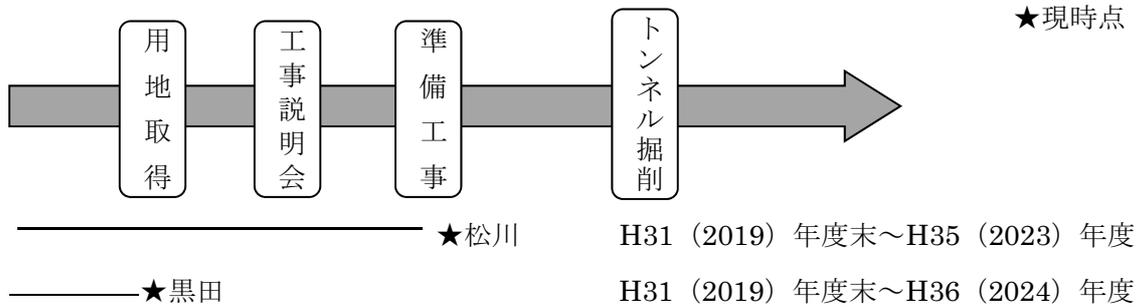
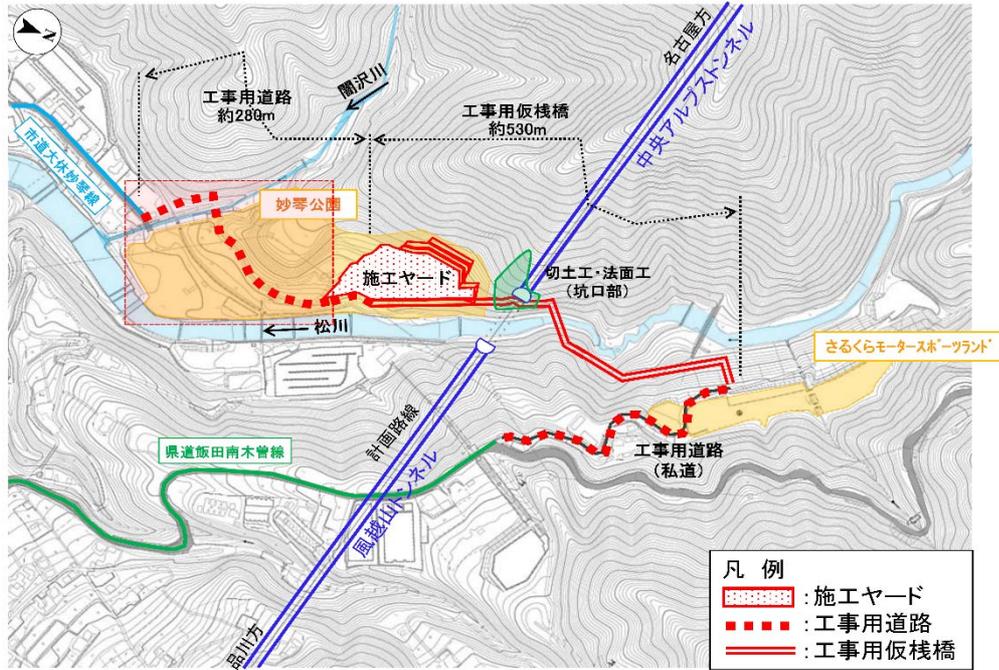
- (1) 座光寺地区
- ・9月末より物件調査、10月中旬より用地測量に着手、年度内概ね完了予定。
- (2) 上郷北条地区
- ・用地測量・物件調査実施中、年内概ね完了予定。



2 トンネル

- (1) 土曾川非常口
- ・地下水への影響が小さいシールド工法での施工に向けて、発生土搬出方法及びその先の運搬路の課題に対する検討を進めており、今年度末には検討結果を地元へ説明する予定となっている。
 - ・トンネルの発生土搬出計画を検討するためのボーリング調査を、11月中旬から来年3月上旬完了予定で実施している。
- (2) 黒田非常口
- ・現在、非常口の用地取得に向け個別協議を進めている。
- (3) 松川坑口
- ・中央アルプストンネル松川工区工事において、準備工事を実施中。妙琴公園内は、閘沢川を渡河するための工事用仮栈橋と駐車場の拡張整備等が終わり、今後キャンプ場から臨時駐車場への歩行者通行用の人道橋、擬木階段等の施工を行う。対岸の羽場側の猿庫私道部では、道路を拡幅するための補強土壁の施工を行っている。
 - ・運搬路となる市道大休妙琴線に係る交通安全対策（仮設歩道等）について、関係機関（J R東海・鉄道運輸機構・J V）及び小中・切石区と協議、調整中。待避所計画の幅杭設置着手。
 - ・県道飯田南木曾線改良計画については、今年度中に用地を取得し、2019年春以降工事着手予定。狭隘区間の解消については、引き続きJ R東海、長野県と調整を図りながら関係者のご理解を得て進めていく。
- (4) その他
- ・12月下旬以降、関係する橋北、東野、丸山、羽場、上郷黒田地区の一部で、環境影響評価書に基づく水資源事後調査に着手予定。





3 建設発生土活用先

・長野県がとりまとめた市町村からの活用先の情報をもとに、下久堅地区（約 20 万 m³）、龍江地区（約 40 万 m³）の 2カ所を発生土置き場候補地として地権者や地元と調整をしている。

(1) 下久堅地区（小林）

・造成後の農地計画を含めた具体的な造成計画について地権者と協議中、今後、下流域を含めた住民の皆様のご理解を得た上で、更に詳細な設計を進めていく予定。

(2) 龍江地区（番入寺西）

・発生土置き場の道路付替え計画、発生土運搬路（龍江 I C～発生土置き場）の道路改良についてまちづくり委員会と協議中。

